



特定非営利活動法人 **アイユーゴー通信 第 28 号**

〒590-0432 大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10

TEL / FAX: 072-452-5680

メールアドレス: snittaskmj0715@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://aiyugo.org/>

アイユーゴーのホームページがだんだんと姿を見せています。

目 次

- 1) 平成 29(2017)年度 事業活動
- 2) 国内活動報告 総会・理事会
- 3) 平成 29(2017)年度 収支決算報告
- 4) 平成 30 (2018)年度 事業計画
- 5) 後記

理事長 新田幸夫



アイユーゴーの活動にご理解とご支援をいただき感謝いたします。2018 年度総会を 5 月 27 日にココプラザ大阪市立青少年センターで開催しました。2017 年度事業報告・収支決算報告、2018 年度事業計画・予算が審議され、承認されました。以下ご報告いたします。どうぞ今後ともよろしくお願いします。

1) 平成 29 (2017) 年度 事業活動

<平成 29 (2017) 年 4 月 1 日～平成 30 (2018) 年 3 月 31 日>
 本年度は、助成団体による助成金で、1 事業をベトナムで、2 事業をマダガスカルで行った。ベトナムにおいては、日本の若きグローバルリーダー育成のためにダラットで日越合同セミナーを開催した。マダガスカルでは、植林事業と都市部で図書館建設を行った。図書館建設ではマダガスカルの首相や文部大臣等が式典に参加された。子供たちの教育に欠かせない事業であったと痛感させられた。



マダガスカルの総理大臣が祝辞。外務大臣、文部(教育)大臣、市長が参加。

1) 図書館建設事業

<途上国における教育水準の向上に必要な事業>
 事業地: マダガスカル・アンタナナリボ 中学校内
 助成団体: ひろしま祈りの石国際教育交流財団様

2) 保健・医療の増進を図る日越合同セミナー事業
<国際社会におけるリーダー育成事業>

事業地: ベトナム・ダラット市 セミナー会場(ダラット大学、少数民族の村他)

助成団体: 三菱UFJ国際財団様

3) 環境保全事業

<自然環境の再生を図る事業>

事業地: マダガスカル・マンゴロ県

助成団体: 国土緑化推進機構様

4) 古着の寄贈事業

<途上国の人たちの生活基盤の向上を促進するために必要な事業>

協力: 森崎シヅ子様 (NPO 法人ホームビジット・とんとん)

寄付: 古着、靴など

<写真報告>

1) 図書館建設事業

事業内容: 建設予定地の Ambohimangakely は、マダガスカルの首都アンタナナリボから北へ 8km に位置する。急激な人口増加と恒常的な貧困家庭の子供たちのドロップアウトが問題となっている。現在のマダガスカルの政治的不安定からくる社会的経済的不況からの脱却の出口が見えないなか、子供たちの将来を築く契機となればと思ひ協力した。竣工式にはマダガスカルの総理大臣、外務大臣、文部(教育)大臣などが視察に訪れた。



完成した図書館



左から、校長、外務大臣、首相、市長

2) 保健・医療の増進を図る日越合同セミナー事業

事業内容: テーマを「高齢化に伴う日越医療と福祉」とし、8 月 22 日から 28 日までベトナムで行った。日本の医学、看護、歯学の大学生たちとベトナムの医学、福祉関係の学生たちで合同のグループを編成し、ダラットの少数民族の集落を訪問した。その後医療・保健、社会福祉などの視点から、その

ループがそれぞれの報告書を作成し、発表し意見交換を行った。(通信第27号の詳細を掲示)

3) 環境保全事業

事業内容：マダガスカル植林活動。マダガスカル共和国の首都アンタナナリボから北へ約300kmにある高地(標高1,500m)ではほとんど樹木が見られない。アラトラ省アンバトソラトラ郡アンボヒダヴァ村(Ambohidava village)の3つの集落(Andranomena, Andranongorona, Ambohimasina)で草原を整備して、土砂災害を防ぎ、森林の保全と再生を目的とした植林事業を行った。樹木は、アカシア、オレンジ、ユーカリなど。



苗木の備状況の確認



専門家による植え付け指導

4) 古着の寄贈事業

事業内容：2018年1月14日(日)にマダガスカルのアンボヒダバ村の子供と大人たちに古着と靴を寄贈。



2) 国内活動報告 総会・理事会

1. 4月理事会

- ・日時：平成29年4月2日(日)15時～17時
- ・会場：キャンパスプラザ京都 第4演習室
- ・議事：図書館建設事業、保健・医療の日越合同セミナー事業、環境保全事業

2. 社員総会

- ・日時：平成29年6月25日(日) 午後3時00分～午後5時
- ・会場：貸し会議室 Kyoto de meeting
- ・議事：平成28年度の事業報告、収支計算書、貸借対照表、財産目録の件、定款の変更に関して、平成29年度の予算案と事業計画書の件など

3. 9月度書面理事会

- ・送付日：平成29年11月23日
- ・議事：平成29年度事業進捗状況報告、平成30年度役員改選、定款の追加内容の確認

4. 1月度理事会・報告会

- ・日時：1月28日午後3時00分(集合時間)
- ・会場：駅ビル 居酒屋

3) 平成29(2017)年度 収支決算報告

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

科 目	金 額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員	556,000	
賛助会員	29,000	
		585,000
2 募金・寄付金収入		
一般寄付	881,821	881,821
3 自主事業収入		
	0	0
4 助成金収入		
三菱UFJ国際振替	400,000	
ひろしま祈りの石	1,500,000	
国土緑化推進機構	1,136,009	
		3,036,009
5 雑収入		
	0	0
経常収入合計		4,502,830
II 支出の部		
1 事業費		
資機材費	2,360,509	
資材運搬費	201,369	
現地移動費	158,460	
現地事業運営費	87,552	
スタッフ派遣経費	710,720	
専門家費用	63,957	
現地管理費	10,000	
セミナー経費	660,031	
		4,252,598
2 管理費		
租税公課	1,800	
旅費交通費	28,220	
宿泊費	16,633	
会議費	31,784	
通信費	37,198	
事務費	54,343	
雑費	10,608	
		180,586
経常支出合計		4,433,184
経常収支差額		69,646

Ⅲその他資金収入の部			
1 受取利息			
普通預金利息	2	2	
2 その他の事業会計から繰入		0	
その他資金収入合計			2
Ⅳその他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			69,648
前期繰越収支差額			-368,370
次期繰越収支差額			-298,722

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

Ⅰ資産の部			
1 流動資産			
現金	10,425		
三井住友銀行	27,772		
新ゆうちょ銀行	7,467		
貯金事務センター	0		
未収入金	0		
		45,664	
2 固定資産			
電話加入権	0		
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			45,664
Ⅱ負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	344,386		
前受助成金	0		
流動負債合計		344,386	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			344,386
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		-368,370	
当期正味財産増加額		69,648	
正味財産合計 (C)		-298,722	-298,722
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			45,664

4) 平成 30(2018)年度 事業計画

<平成 30(2018)年 4 月 1 日～平成 31(2019)年 3 月 31 日>
平成 30(2018)年度においては、主に以下の事業を行います。

1) 環境保全事業<自然環境の再生を図る事業>

事業地：マダガスカル・マンゴロ県

事業内容：マダガスカルの自然再生（植林活動）

- ①アンボヒダヴァ村で苗木保護施設を作る。②草原を整備。
③自生の種を植樹。住民が植樹する。

2) 経済活動の活性化を図る活動

<途上国の経済的自立に必要な事業>

事業地：マダガスカル・アンタナナリボ市

事業内容：マダガスカルにおけるシナモンオイルの企業化の準備・視察

3) 人材育成事業（平成 31 年度実施に向けた調査事業）

<途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

事業地：タイ王国 メーホンソン県

事業内容：メーホンソン県の難民キャンプでの交流

4) 人材育成事業（平成 31 年度実施に向けた調査事業）

<途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国

事業内容：マダガスカルのサクラ NGO のメンバーと EC ツアーを通して交流する。

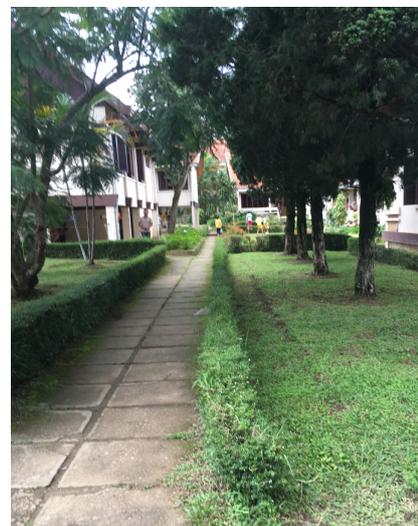
日越合同セミナーの参加者から下記の質問への

お答えをいただきました。

合同セミナーに参加して、自分に変化がありましたか？

—YMさん 看護学生 2017 年参加—

昨年ベトナム研修に参加して私の中で変化があった事は、学習に対する姿勢です。日本の教育の典型である教師が一方的に講義し、学生はその間黙ってノートを取るという学習スタイルに慣れている私は、人前で意見を求められた時どうすることもできませんでした。一方ベトナム人学生は意見を述べることに、それを分かりやすく説明するためのツールを使う事にもとても長けていました。それからというもの、少しでも彼らに近づきたいとの思いから、学校でグループワークや発表の時間があれば積極的に前に出るように心がけるようになりました。



—HMさん 歯学生 2017 年参加—

昨年のセミナーに参加して、私の中では「支援」に対する考え方が変わったように感じます。現地に行く前までは、発展が今進んでいる国すなわち発展途上国や新興国と呼ばれるような国がどのような国なのか、全く分かっていませんでした。そして日本でよく聞く、その国への支援というものがどのようなものなのか、そしてこれからどのような支援が必要なのか、など、日本国内の一般的なメディアしか情報源がない日本人の一学生の私にとっては、全てが未知の状態でした。そして昨年、アイユーゴーのセミナーでベトナムへ訪問させて頂きましたが、ベトナムの地に踏み入ってまずびっくりし

たのは2人・3人・4人で乗っている単車の数と横断歩道がないことだったのを覚えています。対岸の歩道に移らないと目的の場所へ行けなかった際、バイクが沢山横切るなかベトナム人学生さんに渡ろう！走って！と言われた時は大変驚きましたし、ここにきてもしかして死ぬかも？と思いました。セミナーのプログラムの中では、いわゆる田舎にあたる場所の病院へと見学をさせて頂いたり、孤児院の見学をさせて頂き、ベトナムの現状を理解しました。この先必要な支援は、モノの支給ではないこと、そしてベトナムに住む人たちが自らの力で自立しているためにはどうすればよいかを、文化的背景や状況に応じ、ベトナムの人の立場からも考慮した上で考えなくてはならないということがわかりました。さらに、日本で見ていたメディアは沢山の脚色がついており、現地を何も知らない人にとっては沢山の誤解を生むものであるとも気づきました。

—MKさん 医学生 2016年、2017年参加—

勉強面では、2年前のホーチミンのセミナーでは、初めて海外にて医学部の学生と交流する機会に恵まれ、英語でも医学を勉強することの必要性を肌で感じました。そして、ベトナム人学生のやる気に触れ、良きライバルを得たと感じました。そのため、医学に対する勉強について、試験勉強だけでなく自発的に学習でき、英語についても意識するようになり、自分から専門用語を調べるようになり、自然と覚えていることが増えました。

ベトナムでとても良い学生に出会えました。「その国で初めて会う人の印象が、その人にとってのその国の印象となる」ということをアイユーゴーの先生方に教えて頂き、私も留学生等と会う際に、日本に対してどのような印象をもってもらえるかを意識し、勉強だけでなく他の様々な活動もして教養を身につけたいと思い、暇な時間があるなら、忙しい方が良く考えるようになり、このセミナー参加後にはこれまでよりも多くの様々な活動へ参加するようになりました。とりわけ、去年のダラットへのセミナーに参加した際に、グループワークで多くコミュニケーションを取ることができ、大学での勉強面以外も多く考えるようになりました。そして、弊学医学部にやってくる留学生とより積極的にかかわるようになり、たくさんの違う価値観・環境の中で育ってきた人と交流し、様々なことを吸収しようとするようになりました。



ベトナムでのグループワークや発表準備を通じて、前提や背景から説明しないと伝わらないと実感し、すべてを理解し

あうことは難しく、尊重しあうことも学び、普段の生活で説得しようという視点より、まずは聞いてみようというゆっくりと構えられるようになりました。さらに、リーダーシップを取ることが得意な人もいますが、リーダーシップをとること以上にしっかりと議論に参加することが大切であると感じ、大学でのグループワークの際に、どうしたら他のメンバーがしっかりと自ら議論に参加することができるかも考えるようになりました。

最後に、これらの変化を通じて、何事も直接体験することが大きな変化や記憶を自分にもたらすと考えるようになり、書籍等で読むだけでなく、直接参加し、体験してみようと思えるようになりました。

—KKさん 教員 2016年参加—

私は一昨年のベトナム研修に参加しましたがそれからベトナムなどの途上国に対する理解が深まりました。具体的には、先日授業でMSF(国境なき医師団)について教えたのですが、その際に私が参加したプログラムの写真を交えて説明することにより子供達に教科書のような小さな窓からではなく実際に行って見てきた人として話ができて授業の内容理解がより深まったのではないかと考えております。私自身、医療についてはあまり触れる機会が少なかったため、現地での医療と日本の医療を見比べて非常にショックを受けたのを覚えております。

その他の変化に関しては、髪型は当時より短く、黒くなりました。将来的にこうしたことを子供達に興味を持ってもらいたい、という思いで教師になるための勉強をしていました。



—SNさん 看護学生 2017年参加—

セミナーを受けて変わったことは、アジア圏の外国人に対して以前より親近感をもったことです。セミナーではお互いの意見をぶつけあったことで、一つの事象に対してお互いがどのような考えを持っているかを知ることができたし、それをお互いが納得できるようにすり合わせて発表するということまでこぎつけました。その経験では異なる考え方や方法を持っているけれど、目指そうとするところは同じであるということに気づかされ、想像以上に彼らにはスキルと熱い思いがあることを知りました。また食事を共にとる中で、食べたことのないものがあつたけれど私にとっておいしいと感じるものがたくさんあり、味覚が似ていると思いました。これらの経験より、今まで持っていた同じアジア圏なのにどこか遠い存在で何を考えているかわからないといった彼らのイメージは私の中で払拭されました。

5) 後記

わたしたちは、協力を必要とする人たちの自立を目指した開発援助を行っています。困った人たちがいれば、その人たちのそばに行ってみませんか、そして、何かできることがあれば、一緒にしてみませんか。皆様のご参加・ご協力を心か

らお待ちしております。

・ゆうちょ銀行 : 00930-9-144252

<振込先>

特定非営利活動法人アイユーゴー 理事長 新田幸夫

・三井住友銀行 阿倍野支店 : 7, 479, 470

発行者 : 新田幸夫 印刷 : (株) フジカク